

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	使徒4:7-12
賛美	この日は主が創られた(PPT 17)
使徒信条	会衆一同
交読文	51
賛美	黙示録21:3, 4(PPT 11)
メッセージ	安息に入るには(ルカ 14:1-6)
祈り	
賛美	セレブレイト・ジーサス(PPT 19)
主の祈り	会衆一同
祝福の御言葉	会衆一同
Ⅱコリント13:11-13	パスター
報告	水曜に行っていた学び会は、来週から曜日が変わります。

祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽
- ・主に忠実な聖徒達が 30 名以上与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉 空欄に自分の名前を入れて祈りましょう

_____はキリストにおいて、手によらない割礼、つまり肉の体を脱ぎ捨てるキリストの割礼を受け、洗礼によって、キリストと共に葬られ、また、キリストを死者の中から復活させた神の力を信じて、キリストと共に復活させられたのです。(コロサイ 2:12)

しかし、_____には、主イエス・キリストの十字架のほかに、誇るものが決してあってはなりません。この十字架によって、世は_____に対し、_____は世に対してはりつけにされているのです。

割礼の有無は問題ではなく、大切なのは、新しく創造されることです。(ガラテヤ 6:14-15)

_____の主、イエスキリストの名前によって。アーメン！

ファリサイ派の人達が見ていた事(ルカ 14:1-6)

ある安息日、イエス様がファリサイ派の家に入った時、人々は彼をじっと見ていた(ルカ14:1) 彼らは、そこにいる水腫を患っている人を癒すか、癒さないかを注視し、病人さえイエス様を訴えるネタとして用いようとし、その病人に対する憐れみの心は、全くなかった。パリサイ人たちは、働いてはならないという事に固執し、歩くのは何歩以上は良く何歩以上はダメ、といった細かい決まり事を制定し、いのちを救う、救わないではなく「する」「しない」を強烈にこだわっている。

そこで、安息日の主であるイエス様は言われる。

「安息日に律法で許されているのは、善を行うことか、悪を行うことか？ 命を救うことか、殺すことか？」(マルコ3:4)

主が求めるのは、あわれみであっていけにえではないし、善悪の行いではなく、いのちを救う事である。

安息日とは？

安息日の制定は、十戒の第4戒においてである。(出エジプト20:8-11)

主が真っ先に言われているのは「安息日を心に留め、これを聖別せよ」である。

つまり、主の創造の仕事が完成した事を祝い、その時の主の満足を満足し、主の安息を共に安息するべきであって、「働かない」「動かない」といった二次的な事に心奪われるのは、本末転倒である。

創造のみわがが完成した次第は、創世記2:1-3 に書かれてある。

ご自分の仕事があり、全ての創造のみわがが完成し、休まれた日が、安息日である。

私達も、仕事が終わった後は、休んで安息し、あれやこれやと仕事をする事はしない。

完成された被造物を壊すもの

ところが、完全だった創造の御技はサタンによって破壊され、アダムの過ちにより罪と死が入ってしまった。完全な美しい調和が保たれていた世界は混沌となってしまったのは、神様以外の者が介入したからだ。安息日とはあだこうだ、御言葉とはあだこうだ、と言って、御技も御言葉もさも不完全であるかのような、さも自分達が主の御言葉を完成させるかのような振る舞いは、創造のみわがを壊す事である。

壊された被造物を贖う主

水腫の人は、その病によって、本来あるべきはずの完全さが破壊され、長らく安息できなかつた。

ファリサイ人のネタにされている事に甘んじ、何も言わず、ただ主の御前に行き出た。

そんな彼に、主は御技をなす事によって、彼がそれまで心底欲していた安息が復活させられたのである。病によって破壊された体は癒されなくてはならず、不完全な状態は完全にされなくてはならない。

破壊された状態から回復するには、どうすれば良いのか。

「イエスによって与えられる信仰が、この人を皆さんの目の前で完全なからだにしたのです。」(使徒 3:16)

完全な状態に復帰されるには、安息日のマスターである主、イエス様を信じ、御前に行き行く事である。

信仰によって安息に入る

創造のみわがは完成されたが、サタンによって、人の罪によって台無しにされてしまった。

それを主イエスが十字架の死によって罪を罰し、死から蘇った事によって、死と病と貧しさに勝利し、彼を信じる信仰によって、台無しの状態から完全な状態へと復活し、そして安息できる。それが福音である。

安息日の休みは、神の民に残されている。なぜなら、神の安息にあずかった者は、自分のわがを終え休み、神の用意された安息に入るからである。(ヘブル4:9、10)

この神様の安息への招待状を、信仰によって受け取り、みわがの完成にただ入る皆さんでありますように、イエス様の名前によって祝福します！

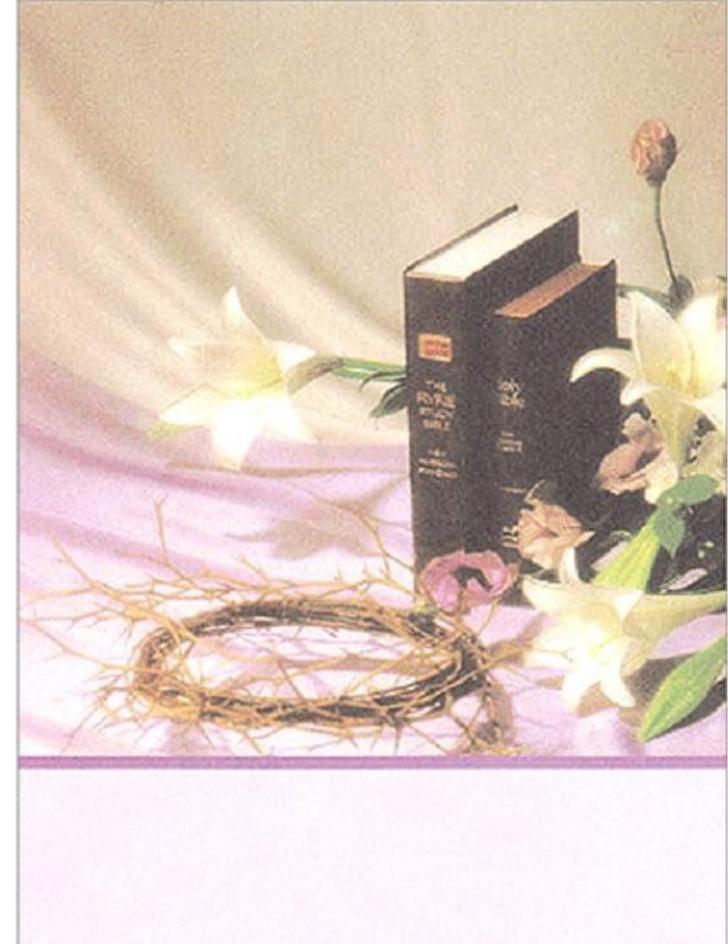
お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

第2巻6号

2011年 2月6日

横浜天声キリスト教会

1部礼拝 週報



集会案内

日曜礼拝

- 1部(日本語) 10:00
- 2部(韓国語) 11:00
- 食事/フェローシップ 12:00～
- 3部(韓国語 日本語通訳あり) 14:00
- 金曜徹夜祈禱会 21:00～

日々の集会

- 月～金 早天祈禱会 5:00～
- 火～木 夜の祈禱会 20:00～

水曜集会

- 1部(韓国語 日本語通訳あり) 13:00～
- 聖書勉強会(日本語) 14:30～
- 2部(日本語) 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番出口より徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-r@yahoo.co.jp



モバイルサイト